

4/16

「食と農」を軸とした  
活動の展開を！  
「JAこまち女性部通常総会を開催」



「『食』と『農』を軸とした活動を展開しましょう」とあいさつする佐々木部長

女性部は、第12回通常総会を本店3階大会議室で行い、代議員、役員、JA関係者74人が参加しました。

開会にあたり、佐々木栄子部長は「農業をめぐる様々な問題・課題がある中、女性部は『食』と『農』を軸とした活動を展開し、地域おこし、農おこしを目指しましょう」とあいさつし、提出された議案は満場の一致で可決されました。

また、総会終了後には、厳しい社会競争から挫折し、自信を失った女性が、農業に取り組み一人の男性との交流を通じて、少しずつ自分を取り戻していく内容の映画「アンダンテ〜稲の旋律〜」の上映会を行い、改めて、「食と農」を軸とした活動の大切さを確認しました。

4/16

婚活事業を中心に  
組織の活発化を！  
「JAこまち青年部通常総会を開催」



婚活事業を中心に青年部活動に意欲を燃やす中川委員長

青年部は、第12回通常総会を湯沢市で行い、盟友、JA役職員40人が参加しました。

開会にあたり中川徹委員長は「平成21年度から始めた婚活事業について、平成22年度はさらなる事業展開を図り、地域の壁を取り除いた盟友間の親交を深め、組織の活発化に努めたい」と盟友への協力を仰ぎました。

総会では、皆瀬支部の佐藤力さんを議長に、平成21年度の事業報告や収支決算、組織強化対策や営農対策、協同活動対策などを重点事項とする平成22年度事業計画並びに収支予算などの5議案が審議され可決されました。

4/24  
・25

首都圏消費者に  
JAこまち産をPR  
「米粉芽玄米芽吹物語販促キャンペーン開催」



安全で新鮮な食材を求めて開店前から行列をつくる首都圏消費者とJAこま치의法被を着てPRに協力してくださったJA東京中央之内次夫常務

JAこまちは、JA東京中央フアーマーズマーケット二子玉川(世田谷区)で、既に取引のあった米粉芽玄米を中心にJAこまち産農畜産物の販促キャンペーンを行い、首都圏消費地における「こまちブランド」の構築に動き出しました。

今後の取り組みとして、サクランボの旬な時期に合わせて農畜産物や加工品を複数の店舗で特集して頂き、秋に開催される農業感謝祭では、秋田県から初の参加を予定しております。

地方と都市のJAが互いの良さを引き出しあい、生産者の所得向上、生産意欲の向上はもちろん、農村と都市の共生に向けて、JAこまちは首都圏におけるJA間協同の輪をさらに広げ、消費者に直接PRしてまいります。

# Hotな農産物



**4/28**  
販売額2億5千万円を  
目指して！  
「椎茸部会通常総会」開催



表彰を受ける佐藤文男さん

椎茸部会は第12回通常総会を湯沢市で行い、部会員、市場関係者、JA関係者54人が参加しました。  
はじめに、優秀生産者表彰を行い、最優秀賞に佐藤文男さんなど、6人に賞状と記念品を贈呈しました。  
総会の開会にあたり下橋久一部会長は「販売額2億5千万円を目標とし、椎茸産地確立を目指そう」と部会員に力強く呼びかけました。

## 平成22年度優秀生産者表彰受賞者

- 最優秀賞 佐藤 文男さん (三輪)
- 優秀賞 伊藤 吉一さん (三輪)
- 市場賞 寺田 定夫さん (三輪)
- 下橋 孝子さん (三輪)
- 高橋 義明さん (東成瀬)
- 西成 嘉一さん (稲川)

**4/30**  
部会員一丸となって  
販売額3億円を目指そう！  
「きゅうり部会通常総会」開催



「部会一丸となって頑張ろう」とあいさつする渡部部会長

きゅうり部会は第12回通常総会を湯沢市で行い、部会員、行政・市場・JA関係者、51人が参加しました。  
開会にあたり渡部太郎兵衛部会長は「生産履歴記帳を通じて消費者へ安全・安心の提供をするとともに、栽培技術講習会を活かした高品質栽培に取り組み、多チャンネル販売体制で、部会員一丸となって販売額3億円を目指そう」とあいさつをしました。  
総会では、湯沢支部の本多茂さんを議長に、平成21年度の生育経過や販売実績などを報告。平成22年度事業計画並びに収支予算などの4議案が審議され可決されました。

**5/13**  
交通事故のない  
安全な地域づくりを！  
交通安全協会へ交通安全グッズを寄贈



「地域の交通安全に活用して下さい。」と地域の安全・安心を願い岩井川組合長が長雄会長へ目録を手渡す (湯沢警察署にて)

JAこまちは、地域における交通事故特別対策として、交通安全対策用の「交通安全グッズ」と、「交通安全教室で使用する機材」約1000個を交通安全協会へ寄贈しました。  
この事業は、地域に密着したJAが、地元の警察、行政、交通安全協会と連携し、交通事故のない安全で、より安心して暮らせる地域づくりを応援する共済事業の一環です。  
交通安全協会の長雄潤二会長は、「今回寄贈して頂いた夜間反射材付の交通安全グッズを使用することにより、夜間運転中の視界の狭さの軽減化が図れ、交通事故激減に取り組むことが出来ます」と大変喜んで頂きました。